

特別支援

令和8年度も各学部様々な学習に取り組んでいます！校内での学習はもちろんのこと、どの学部も地域にも飛び出し、体験的な活動を通して学習を深めています！

小学部 プール学習



小学部では、6月から7月にプール学習を実施しています。梅雨の時期ではありますが、天気にも恵まれ、元気いっぱい楽しんでいます。低学年では、浮き輪やボールなどを使った水遊びを通して、水の中で体を動かす心地よさを味わっています。中学年と高学年は、今年から合同でプール学習を行っています。石拾いや輪くぐりで顔をつけることや潜ることにチャレンジしたり、ピート板を使って浮くことやバタ足に取り組んだり、自分でできるようになりたいことを目標に立てながら、意欲的に学習しています。



中学部 生活単元学習



中学部では、3年間を通して山梨県や日本等の理解を深める学習に取り組んでいます。1年生は「山梨を知ろう」をテーマに、甲州だるまや手彫り印章の制作体験を通して、伝統産業や文化について学びました。2年生は「すごいぞ日本！」をテーマに、空手の型に挑戦したり、お茶を点てたりしながら、日本の文化や精神に触れることができました。3年生は、1年生からの学習の集大成となる愛知県への修学旅行を実施しました。公共の場でのマナーやルールを守りながら行動し、あなかけスバゲティなどの名古屋飯を味わったり、名古屋城の見学を行ったりすることで、地域の特色や文化への理解を深める貴重な機会となりました。



高等部 1年生職場見学・体験



高等部1年生は6月に職場見学・体験を実施しました。福祉事業所でフームのパッケージング作業を体験したりカフェレストランで配膳体験をさせていただいたり、卒業生から働く上で大切なことや学校生活で今から取り組むべきことなどを聞いたりして、仕事に対する関心や2、3年生の先輩たちとともに行われる「産業現場等における実習」に向けた意欲を高める良い機会となりました。



6月に入り、本校では学校評議員の皆様やドイツからの留学生など、多くの方々に学校の様子をご覧いただく機会がありました。「子どもたちがのびのびと学校生活を送っている」「先生方の指導が穏やかで温かい」など、うれしいお言葉をいただきました。子どもたちが安心して学び笑顔で過ごす姿は、私たち教職員にとって何よりの喜びです。これからも教職員が心身ともに健康で働ける環境を大切にしながら、子どもたち一人一人が安心して成長できる学校づくりに努めてまいります。

校長 田中 武夫

きりの華 26

Kiri-no-ka

第16号
2026年7月発行
山梨大学教育学部附属
幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校

昨年度も山梨大学附属四校園の学校園活動・各種事業にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。現在、附属小中学校のグラウンド整備、教育環境の整備のご支援をお願いしております。右の2次元コードからご覧いただき、子どもたちの学校園での生活がより充実したものとなるよう、ご協力をお願いいたします。



幼稚園

本園は、大学の附属園として、附属小学校と連携を取りながら、5歳児から小学校1年生までの「架け橋期」の教育について、子ども同士の交流や教師間の学び合い、カリキュラムの検討などを行っております。子どもの育ちや学びのつながりについて実践研究を進める中で、子どもたち自身が学ぶことを楽しみ、憧れや期待感を心に抱きながら小学校に向かっていけるように支えていきたいと考えております。

「小学校って色々なものがあるね！」

6月26日(金)、1年生と年長児と一緒に小学校の畑でサツマイモの植え付けに取り組みました。お互いに自己紹介をし、自分達で植え付けの分担を相談した際に「1年生が(やりたいことを)聞いてくれた」と、園児は受け止めてもらえた嬉しさを感じたようです。また「学校の教室」にも新鮮な驚きを受けたようで「机がいっぱいある！」「壁に何か貼ってある」「絵もあった」「おっきいテレビがある！」「ロッカーの形が違う！」など、幼稚園とは違う小学校の環境でたくさんの発見をしたようでした。



「あ～楽しかった！」「1年生と友達になった！」

教室の中では、ジャンケンや「なべなべそこぬけ」などをしながら一緒に遊んだり、1年生が国語の授業で取り組んでいる「読み聞かせ」をしてもらったりしました。絵本を音読する1年生の様子に見入ったり、一緒に楽しく過ごしたりする中で、充実した時間を過ごせたようでした。園に戻る途中聞こえてきたのは、「あ～楽しかった！」「あのね、1年生と友達になったんだよ」という満足感たっぷりの声でした。

今後、栽培活動も含め、年間を通して様々な交流に取り組んでいきます。附属校園ならではの連携と継続的な交流を通して、子ども達が学校という場所を知り、親しみや憧れを持ち、「わくわくしながら大きくなっていくこと」を大切にしていきたいと考えております。



幼稚園より

今回の交流では、附属小学校の初等教育公開研究会で「読み聞かせの工夫」を学ぶ様子を見せてくれた1年生が、実際にいろいろな工夫を使って園児に絵本の読み聞かせをしてくれました。園児は、絵本の豊かな言葉や表現を楽しみながら物語をよく理解することができ、相互にとって実り多い交流となりました。本園では附属小学校の協力の下、引き続きこのような交流を行いながら、子どもの学びの連続性についての研究を進めてまいります。 園長 磯部美和

令和9年度 園児募集説明会

8月22日(土)に開催します。

詳しくは、本園のホームページをご覧ください。



Instagram



お問い合わせ：令和8年度附属4校園事務局（附属特別支援学校）055-220-8282
発行番号は2021年(令和3年)初号からの通算番号です。



初等教育公開研究会 ともに学び、 自ら越えていく子供 —子供の「学び方」に注目した授業を通して—

2年次

本校は、山梨大学教育学部附属小学校として、大学との連携を大切にしながら、児童を主体とした教育実践と研究に継続して取り組んできました。6月20日（土）には、今年度の教育研究の成果や、児童が主体的に学ぶ様子を、県内外の教育関係者の皆様にご覧いただく機会として、初等教育公開研究会を開催しました。当日は、1年生から6年生までの各教科・領域における15の授業を公開し、授業後の研究協議では、児童の具体的な学びの姿をもとに活発な意見交換が行われました。

参加された先生方からは、児童自身の内発的動機に基づいた生き生きと学ぶ姿、自分の言葉で素直に表現する姿、仲間と話し合いながら考えをつなげる姿等、数えきれないほどの本校児童の良さを見取っていただき、お伝えいただきました。児童にもフィードバックし、今後の学びの自信につなげていきたいと思っています。

650名をこえる参加者の皆様並びに、早朝より献身的に運営にご尽力を賜りましたPTA学校委員の皆様、心より御礼申し上げます。



★ 校旗を新調しました ★



昨年度、本校創立150周年記念事業の一環として開催した「おおぎり祭り」において、令和7年度PTAの皆様にご多大なるご尽力を賜り、多くの収益金を学校へお寄せいただきました。皆様の温かいご支援に心より感謝しております。

このたび、その収益金を活用し、昭和47年の制定以来、半世紀以上にわたり本校の歴史を見守り、入学式や卒業式をはじめ、さまざまな学校行事で大切に受け継がれてきた校旗を新調することとなりました。新しい校旗も、本校の伝統と歴史の象徴として、大切に受け継いでまいります。これからも多くの子供たちの成長や出会い、別れを見守っていくことでしょう。

ICT活用実践事例集

附属四校園では、一人一台端末の整備を機に授業や教育活動の中でICTを活用した実践事例集を作成しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yamanashi.info/huzoku>

昨年度、本校は創立150周年を迎え、長い歴史の中で培われた教育理念や伝統を振り返るとともに、本校が果たしてきた役割を改めて見つめ直す機会となりました。これまで本校を支えてくださった皆様、心より感謝申し上げます。

今年度は新たな一歩を踏み出す年として、子供たちの未来を見据えた教育の充実に努めてまいります。教職員一同、保護者・地域の皆様と連携し、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

校長 神山 久美



赤学年でつくる最後の旅（3学年）

学年テーマ「RED SYMBOL～赤学年でつくる最後の旅」のもと、3年生の若桐のつどい（修学旅行）を2泊3日で実施しました。大きなけがや事故もなく、学年で目指していた最高の旅、そして成長し共に高みを目指すことのできた修学旅行になりました。あいにく、2日目の京都市内のタクシー見学は冷たい雨に見舞われてしまいましたが、あとになれば、これもよい思い出になると思います。

若桐のつどいに向けて3年生は、2年生の時からSELFの時間に調べ学習をし、自ら立てた問いについて、歴史的建造物や文化財を実際に見学すること等を通して解決に取り組むことができました。また、この若桐のつどいで、クラスや学年の仲間と非日常の体験を通して絆が深まったことと思います。ここで得た貴重な経験を今後のクラスや学年づくりに活かし、さらに絆を深めてほしいと思います。



仲間とともに富士山で学びを広げよう（2学年）

「TAFO (Think, Act, and Fly as One) ～仲間とともに富士山で学びを広げよう～」のスローガンのもと、2年生の若桐のつどい（林間学校）を1泊2日で実施しました。梅雨の時期で雨も心配されましたが、幸いにも雨に降られず、1日目は富士山御中道めぐり、富士山講話、キャンプファイヤーを行いました。2日目は北口本宮富士浅間神社見学、御旧外川家住宅見学、山梨県富士山世界遺産センター見学、富士山レンジャー活動体験を行いました。この若桐のつどいを通して、学校を離れ、大自然の中で仲間と協力し合うことで、お互いのよさを知るとともに、互いに高め合うことができました。



追究の地図で、探究の芽を育てよう（1学年）



「追究の地図で、探究の芽を育てよう～答えは1つじゃない。仲間と探し出す、自分たちの答えと探究の心～」のテーマのもと、1年生の若桐のつどい（校外学習）を実施しました。甲府駅北口に集合し、バスや電車を利用しながら甲府の魅力を発見するために甲府周辺地域の班別自主見学を行いました。様々な施設を実際に訪れることで、これまでのSELFの学習を深めることができました。ここでの学びが、これからの学校生活や2年生の林間学校、3年生の修学旅行の土台となりました。

今年度も各学年において、若桐のつどいが無事に行われました。3年生は探究の集大成として、2年生は身近な富士山の新たな魅力を知る機会として、1年生は探究への第一歩として、それぞれ貴重な学びを得ることができたことでしょう。この経験が、これからの人生を支える力となることを願っています。

校長 関口 浩文